

平成 30 年 川崎市健康安全研究所 微生物検査情報 Vol. 1

目 次

1	食中毒検査結果（平成 30 年 1 月～3 月）	1
2	感染症検査結果（平成 30 年 1 月～3 月）	
(1)	腸管系細菌検査	2
(2)	呼吸器系細菌検査	3
(3)	ウイルス検査	4

（発行：平成 30 年 4 月 10 日）

1 食中毒検査結果（平成30年1月～3月）

市内で発生した食中毒事例や有症苦情事例などについて、その原因究明や被害拡大防止を目的として、患者や関係者の糞便、原因推定施設の食品や拭取り等の検体について分離・同定検査を実施しています。

表1 食中毒検査における月別検査件数及び細菌検出状況（菌株含む）

検体件数	検出細菌数																	検出細菌数計	
	赤痢菌	サルモネラ属菌 (チフス菌、パラチフスA菌を除く)	病原性大腸菌 (腸管出血性大腸菌を除く)	腸管出血性大腸菌	腸炎ビブリオ (コレラを菌含む)	黄色ブドウ球菌	カンピロバクター・ジエジュニ	カンピロバクター・コリ	ウエルシュ菌	エルシニア・エンテロコリチカ	ナグビブリオ (コレラ菌非O1、ビブリオ・ミミカス)	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーンニシイ	エロモナス・フィドロフィラ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロイデス	セレウス菌		クドア・セブテンブククタータ
1月	29					2													2
2月	2						1												1
3月	6					1												1	2
計	37	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5

表2 平成30年 川崎市内食中毒発生状況(調査中を除く) (3月末現在)

	事件数	患者数	死者数	喫食者数
平成30年	1	1	0	1
うち細菌性食中毒(表3参照)	0	0	0	0

表3 細菌性食中毒一覧

No.	発生月	原因施設	喫食者数	患者数	原因食品 (推定含む)	病因物質	措置
1	—	—	—	—	—	—	—

※ 平成30年1月～3月は川崎市内の細菌性食中毒の発生はありませんでした。

2 感染症検査結果（平成 30 年 1 月～3 月）

「感染症法の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)に基づく届出により医療機関から搬入された菌株や感染症発生动向調査、感染症対策における積極的疫学調査等により採取された検体について、病原性細菌及びウイルスの分離・同定検査を実施しています。

(1) 腸管系細菌検査

表4 感染症検査における月別検査件数及び腸管系細菌検出状況（菌株含む）

	検体件数	検出細菌数																検出細菌数計		
		コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	バラチフス菌	病原性大腸菌 (腸管出血性大腸菌を除く)	腸管出血性大腸菌	サルモネラ属菌 (チフス・バラチフスを除く)	腸炎ビブリオ (コレラ菌を除く)	カンピロバクター・ジエジュニ	カンピロバクター・コリ	エルシニア・エンテロコロチカ	ナグビブリオ	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーンシイ	エロモナス・フィドロフィラ	エロモナス・ソブリア		ブレシオモナス・シゲロイデス	カルバベネム耐性腸内細菌科細菌
1月	8																	6		6
2月	6					2												2		4
3月	25		3			8												4		15
計	39	0	3	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	25

(2) 呼吸器系細菌検査

表5 感染症検査における月別検査件数及び呼吸器系細菌検出状況(菌株含む)

	検体件数	検出細菌数								検出細菌数計	
		結核菌培養	結核菌 V N T R	A群溶血性レンサ球菌	レジオネラ属菌	肺炎球菌	インフルエンザ菌	百日咳菌	マイコプラズマ		その他
1月	21		6	1		5					12
2月	19		7	2		3					12
3月	21		7	1		1	2				11
計	61	0	20	4	0	9	2	0	0	0	35

表6 T-スポット.TB検査※件数

	検体件数
1月	62
2月	130
3月	97
計	289

※T-スポット.TB 検査 結核患者接触者健診等で実施する結核の感染を早期に発見するための診断補助検査

